

Q2： 道德教育を充実させるためには、どのようなことから始めればよいですか。

はじめに

新学習指導要領では、次のように学校が一体となった道德教育の協力体制づくりの重要性が明示されました。

道德教育は、校長の方針の下、学校の教育活動全体で取り組まれ、個々の教師の責任ある実践に託されていくものである。学校が組織体として一体となって道德教育を進めるために、全教師が力を発揮できる体制を整える必要がある。例えば、道德主任などの道德教育推進教師の役割を明確にするとともに、機能的な体制の下、道德教育を充実させていく必要がある。（学習指導要領解説 道德編）

3つのポイント

○校長の方針の明確化

以下に、協力体制づくりにおける3つのポイントを説明します。
校長が道德教育の基本的な方針を明確にし、それを実現するための組織をつくる必要があります。そのためには、道德教育の推進を主に担当する教師（道德教育推進教師）を中心に、全教師が一体となって道德教育に取り組む体制をつくるのが大切です。

○道德教育推進教師の役割の明確化

道德教育推進教師の役割として、「解説書」では、次のアからクのように8つの例を示しています。これらを参考とし、道德教育の推進役の役割を各学校の実態に応じて焦点化、明確化します。道德教育推進教師は、道德教育全体を見渡すコーディネーターとして、各教科主任や児童・生徒指導主任（主事）、特別活動主任などに働きかけ、道德教育を推進することが重要です。

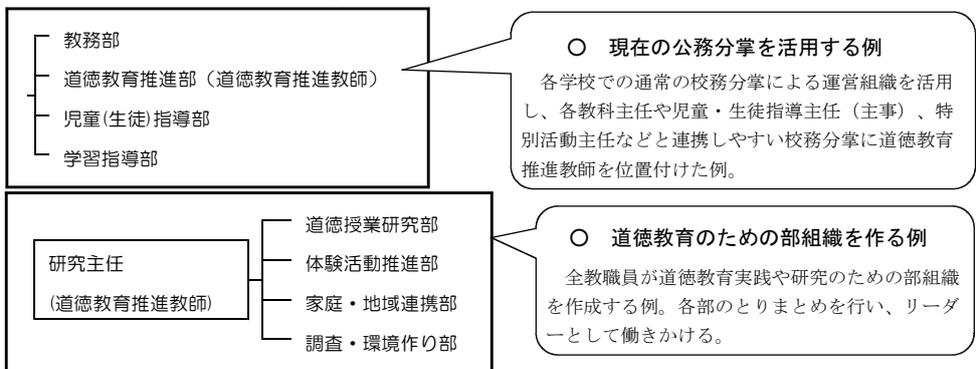
- ア 道德教育の指導計画の作成に関すること
 - イ 全教育活動における道德教育の推進、充実に関すること
 - ウ 道德の時間の充実と指導体制に関すること
 - エ 道德用教材の整備・充実・活用に関すること
 - オ 道德教育の情報提供や情報交換に関すること
 - カ 授業の公開など家庭や地域社会との連携に関すること
 - キ 道德教育の研修の充実に関すること
 - ク 道德教育における評価に関すること
- など
(学習指導要領解説 道德編)



○機能的な協力体制

学校が組織体として一体となって道德教育を進めるために、全教師が力を発揮し、協力し合える実質的な体制を整えるには、児童生徒、地域の実態、教職員の構成や個性等を考慮しながら、機能しやすい協力体制をつくるのが大切です。

機能的な組織例



参考図書：「初等教育資料」(平成21年2月)

おわりに

道德教育は全教職員の協働的かつ積極的な働きがあってこそ前向きに力強く推進されます。学校の実態に即した協力体制により、生きた道德教育を期待します。